



～協会からのお知らせ・インフォメーション～

◇ワールド・フェスタ in みやこのじょう2025

第13回「ワールド・フェスタinみやこのじょう2025」に参加して下さる団体、個人、ボランティアスタッフを募集します。(都城市又は三股町にお住いの方)。皆様のご協力をよろしくお願いします。

日時: 2025年1月26日(日) 12:00～17:00

会場: 都城市総合文化ホール(MJ)

イベント内容: 海外の国や地域の紹介など。

募集対象: 国際交流、国際協力や多文化共生など
ワールドフェスタの目的に沿うもの。

募集内容:

① 国や地域紹介ブース

体験交流できるもの。展示のみは不可
(モンゴル、中国、アメリカは除きます。)

② 国際交流、国際協力等の団体活動紹介コーナー パネル展示

③ 個人、団体でのステージ発表

歌やダンスなど。時間は3分～10分以内

④ ボランティアスタッフ

- ・前日の会場設営準備(荷物運搬やパネル設置など)
- ・当日のブース準備、終了後の片付け
- ・国紹介ブース補助、ステージ受付・案内
- ・ステージ裏補助等

注意事項:

*希望者多数の場合、調整させていただきますのでご了承ください。

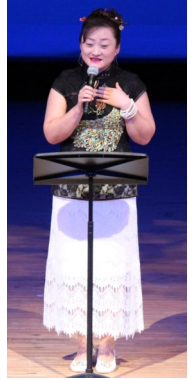
*各ブースの広さは参加数によって調整します。

申込み締切: 2024年11月8日(金)

申込み・問合せ: いずれの募集も事前の申込みが必要です。団体名、お名前、参加内容を電話、E-mailでMIA事務局までご連絡ください。

電話 0986-23-2295

E-mail mia@btvm.ne.jp



◇宮崎県国際交流協会

ひなたにほんごクラス(オンライン)

〈入門〉

・日時: 10月16日(水)～2月7日(金)
全30回 毎週水曜日・金曜日
13:30-15:30

・対象: 初めて日本語を学ぶ方 ・定員: 7名
・定員: 7名

〈初級1〉

・日時: 10月15日(火)～2月13日(木)
全30回 毎週火曜日・木曜日
10:00-12:00

・対象: ひらがな・カタカナが読める方
・定員: 7名

〈初級2〉

・日時: 10月16日(水)～2月7日(金)
全30回 毎週水曜日・金曜日
10:00-12:00

・対象: ひらがな・カタカナが読み書きでき、簡単な会話ができる方

・定員: 7名

問合せ: (公財)宮崎県国際交流協会

電話: 0985-32-8457

Email: nihongo@mif.or.jp

使用済み切手を集めてアジア・アフリカに健康を届けよう!

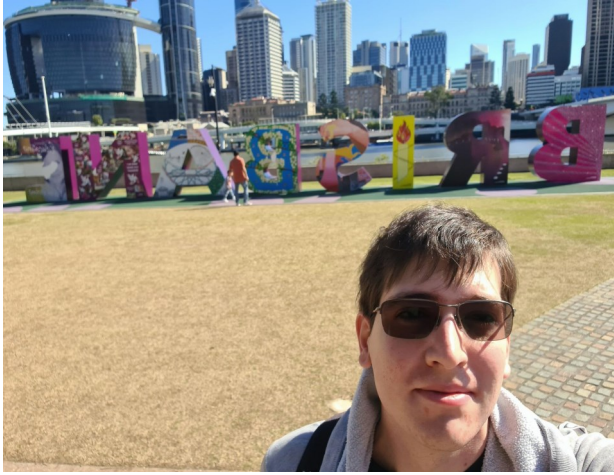
いつも、アジア・アフリカの人々の健康のための使用済み切手の収集にご協力いただきありがとうございます。

皆様から頂いた使用済み切手は、整理、換金され、途上国の保険医療活動を支える貴重な資金となっています。これからも引き続きご協力をよろしくお願いします。



~Introducing Myself and Brisbane Australia~

初めまして、オーストラリアのブリスベンから来日した26歳のニコラス・ハドソンと申します。7月に都城に到着し、この町の豊かな文化や奥深い歴史に触れ、日本の生活を楽しみにしています。この間、初めて日本の祭りを見に行き、来年の踊り連に参加したいと思っています。



出身地ブリスベンにて

大学で6年間日本語を学びましたので、私と会話していただければ嬉しいです。また、皆様の英語の練習も手伝いたいのので、もしどこかで見かけたら、是非声をかけてください。

私の故郷、ブリスベンは多様で多文化が共生している都市です。オーストラリアは世界で6番目に大きな国であり、熱帯雨林や砂漠など多彩な風景が広がっています。日本以外の国で、人口一人当たりの日本語学習者数が最も多い場所です。日本は文字によって受け継がれてきた長い歴史を持っている一方、オーストラリアは原住民の時代から、口承による豊かな伝統が継承されています。私達の国の違いは非常に奥深いものだと感じています。

今回を含め、日本に来るのは3回目です。これまでに本州中部の観光名所しか訪れたことがないので、今回は宮崎や鹿児島を始めとして、やる気満々で九州を巡りたいと思っています!まだ桜が咲くのを見たことがないので、日本全国の桜の開花を追いかけようともっています。また、カナダでの登山経験を生かして、都城周辺の連山を登るのを楽しみにしています。



はじめての盆地祭り



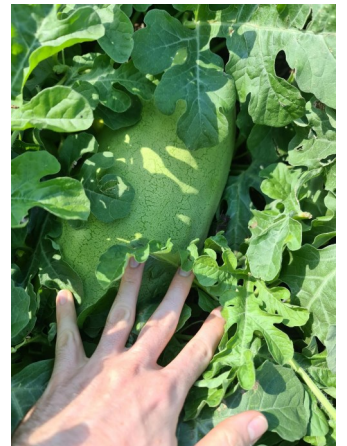
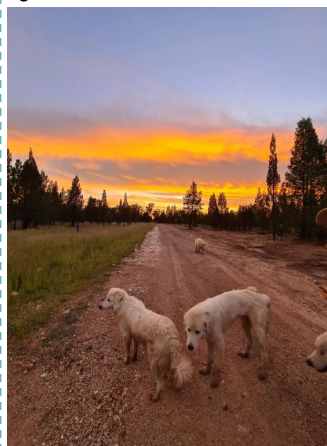
トゥーンバ市の日本の庭にて

生まれも育ちもブリスベンですが、この4年間ずっとオーストラリアの田舎にある家族の農場を手伝っていました。そこで果物や野菜を植えたり、豚や羊、鶏などの動物を飼育したりしていました。暇な時には本や漫画などを読んだり、アニメを鑑賞したりすることが好きです。都城に滞在している間に、日本の文化や歴史を更に深く理解できることを目標にしています。

皆さんとお会いして、お互いの文化について話し合えるのを心待ちにしています。よろしくお願いします。



ハドソンさんの農場とハドソンさんの作ったスイカ





「モンゴルケーキ」

～都城市モンゴル国際交流員 ヒシゲさんによるモンゴル紹介～

皆さん、ケーキは好きですか。私はケーキが大好きで、小学生の頃、給食にケーキだけに持って行った時期もありました。今回はモンゴルのケーキについて紹介します。

ケーキはモンゴル語でビャルーと言い、1947年に初のビャルーが作られたそうです。



モンゴルでは記念すべき日、大きいサイズのケーキを食べる習慣があります。クリスマスと誕生日はもちろんですが、旧正月、褒章の祝い、子どもの断髪式、長寿祝い、昇進祝い、進学祝いなどに家族やみんなで切り分けて祝うのです！



スーパーなどのショーケースにカットケーキは無いと言っても過言ではありません。しかし、都市化が進み、街のあらゆるところにカフェができたため、近年、ショートケーキの文化が生まれました。

昔はバタークリームがよく使われていましたが、今は生クリームとホイップクリームに変わりました。全体に色合いが濃いのも特徴です。また、アールツという乳製品を使った甘酸っぱいケーキも人気があります。都城の皆さんにもこの乳製品のケーキをお奨めします！



新学期祝いのケーキ



子どもの断髪式のケーキ



褒章祝いのケーキ



1歳の子どものケーキ



ハロウィン

～都城市アメリカ国際交流員 セスさんによるアメリカ紹介～

アメリカでは、あの時期がそろそろ来るので、みんなは興奮しながら好きなスーパーヒーローのコスプレを購入したり、自宅を怖いもので飾ったりしています。そう、10月が近づき、ハロウィンの時期です！

しかし、海外の人にはあまり知られていないハロウィンの風習が多くあり、今回いくつか紹介したいと思います。



お友達とハロウィンのパーティーを楽しむ
セスの両親

まず、覚えてほしいのは、アメリカではハロウィンは老若男女を問わず、誰でも楽しく参加できる行事だということです。子どもは、憧れのキャラクターのコスプレをして、トリック・オア・トリート(お菓子をくれなきゃ、いたずらしちゃうよ!)をしたりすることは既にご存知だと思いますが、大人になってもコスプレをやり続ける人がいることもご存知でしたか?例えば、私の母は毎年友達とワインを味わいながら、コスプレコンテストに参加しています。実際に優勝したこともあります。



毎年、この時期になると
変身するセスのご両親

私の方は、『ダンジョンズ&ドラゴンズ』という世界初のロールプレイングゲームの自分自身で作ったキャラクターに扮して、友達と一緒にハロウィンを祝ったことがあります。その時の写真もこの記事に添付しています。髪を白くスプレーして、首に垂れ下がっているネックレスを作りましたが、それ以外は全て以前から所有していたものです。

ハロウィンの過ごし方は人それぞれですが、アメリカ風のハロウィンにおいて、コスプレは間違いなく不可欠な存在です。

しかし、コスプレだけでなく、数えきれない



ほどの風習があります!例えば、カボチャを彫ること、カボチャのパイ(いわゆるパンプキンパイ)を食べること、カボチャに基づいて作られた品物を販売する売り場に見に行くことが人気です。一応、カボチャが中心ですよ(笑)

さらに、アメリカでは「怖い話」をシェアすることも大人気です!多くの場合、本当にあったストーリーなので、読むとき、聞くときは心の準備をしておいてください。そして、アメリカ風にご家族に自分の怖い話をぜひ教えてみてください!できれば、背中に冷たい風を感じさせるほど驚かせてくださいね。😊

編集部より

8月は雷、地震、台風と自然災害が続いて大変な月でしたね。月末の台風10号では、あわや都城直撃か!!とひやりとしましたが、都城市では大きな被害もなかったようで安心しております。とはいえ、風の強い日が続いたので、皆様も家の片付けなど大変だったのではないのでしょうか。

我が家は庭に植えていたゴールドクレスト3本がなぎ倒され、花壇の柵も軒並み倒れ、台風明けの週末は庭の葉っぱ拾いから始まり、ホームセンターで柵を買い...と復旧作業(?)に勤しむこととなりました。

そんな中、一人楽しんでいたのは、我が家の愛犬アニーちゃん。

柵がなくなったものだから、自由に遊べる範囲が広がり、畑の中に入って、「わーいわーい!」と大はしゃぎ。作業が終わった後は、泥まみれになったアニーちゃんをきれいに整えて...人間はぐったりの週末でした。

[亀谷]

皆さん、こんにちは。

今回もこりずに『全国行ったつもりでぶらり旅コメント』つづけますよー m(。)m

いよいよ九州編に突入します!!!

今回は福岡県に行ったつもりいー

福岡県といえば、言わずと知れた九州沖縄地域最大の政令指定都市である「福岡市」がありますね。博多区とか中洲とかも福岡市にあります!!

そんな福岡市ですが、いろんな日本一があるようで、鶏肉の支出金額、購入量と焼き鳥店舗数が1位です。ほかにもスポーツが楽しめる街ランキンクグや水質が良い海水浴場の数ランキンクなども1位ようです。

そして、在留外国人数の伸び率も全国一で、住みたい旅行したいまちランキンクでも上位なので、日本人だけでなく、いろんな国の人が住みたい街なのでしょうね(@~@)

ちなみに、福岡市に住む外国人人口は50万人を超えているので、宮崎県で例えると県民の半分は外国人...みたいな感じです(@_@;)

[西畑]

こんにちは(*^^*)

8月上旬、青少年訪問団とともにモンゴルへ行ってまいりました!都城から福岡、福岡から韓国の仁川、仁川からウランバートルと1日かけて到着。雄大な草原の中にあるチンギスハン空港に降り立ち、日の入りを見ながら市街地へ向かいました。

そこからあつという間の1週間。博物館やカシミア工場の見学、郊外での自然体験など普段では経験できないことやモンゴルの歴史について触れることができ、特にモンゴルの伝統的な歌や踊りは美しさや懐かしさ、大地の力強さを感じました。初めて聴いたはずなのに故郷を思い出させるような不思議な感覚でした。

馬から落ちたり、雷が降ってきたり、私の部屋だけWi-Fiが繋がらなかったりというハプニングもいい思い出です(笑)ご飯はどれも美味しく、特にハマったのがサジージュースとモンゴルの揚げパン。添加物が入っていないような素朴なお味だったのですが、本当に美味しかった~(*'▽')

いつかまたモンゴルに行きたいです♪今度は一人旅に挑戦しようかな(*^^*)

[中瀬]

日本のアニメやマンガ作品の舞台・背景となった場所を訪れることを、ファンの間で「聖地巡礼」と呼んでいます。そして、日本のアニメ・漫画が海外にも広がる中、聖地巡礼を楽しむ外国人観光客も増えています。うちの息子もその中の一人です。

8月に、息子が日本に来て、10日間旅行をしました。彼の一番好きなアニメは、東京を舞台とした新海誠監督のアニメ映画『君の名は』です。東京に

いる間彼は、オープニングとプロモーションビデオに幾度となく登場した新宿警察署裏交差点や、社会人になった瀧と三葉がすれ違ったものの出会えなかったシーンの新都心歩道橋、ラストシーンに描かれた須賀神社の階段などを回りました。今回の旅行は、彼にとって、観光より聖地巡礼のほうがもっと印象深かったです。 [れいか]

先月、私はついに普通自動車免許を取得しました。満点で(「ばっちり」って言われた)試験に合格した理由は、間違いなく同僚のアドバイスト、受けたプライベートレッスンの先生のおかげです。彼らの助けなくしては、確実に合格できなかったと思います。

「内なるセス:しゃーんなろー!

やったぞ!!ああ...すっきりした感じだねえ、いよいよメンドクサイったらありやしない手続きが終わったんだ。車の免許を取ったことで、もう一度私の自由さをうまく取り戻した。」

冗談はさておき、本当に周りの助けがなければ免許を取るのには難しかったと思います。宮崎ドライビングセンターまで連れて行ってもらい、アドバイスを受け、試験に合格するためのコツを教えてもらい、感謝の気持ちでいっぱいです。周りに恵まれていると改めて感じました。お礼を申し上げます。ありがとうございました。

さて、苦勞して取得した免許で、今回はどこに行こうかな...:)

[セス]

皆さん、サエンパェノ!

8月21日に超久しぶりに自分とデートしました。朝早くから特急に乗り、鹿児島中央に着きました!そして鹿児島県歴史・美術センター黎明館へ!黎明館にて『動き出す浮世絵展』デジタルアートミュージアムを満喫!300点以上の作品を3Dアニメーションやプロジェクションマッピングで展示していました。その後、天文館通りに行き、グルメ巡り!蒸し暑かったので、白くまをたべました。充実した一日の締めは鶏飯!

[ヒシゲ]

8月24日(土)、トリビア交流ナイトに多数ご参加いただき、ありがとうございました。今回も色々な方からご支援、ご協力をいただき開催することができました。感謝いたします。来年も開催いたしますのでご期待ください。

庭の壁際に彼岸花が咲いています。毎年この時期に忘れずに花を咲かせます。自然には驚かされます。毎朝、様子を見に行っています。紅葉の季節ですね、今年は、えびの高原に行ってみようと思っています。

[藤元]

作文の宿題をしていた娘が、バーベキューをBBQと書いて良いか質問してきました。「いやあ、だめなんじゃない?」と答えたものの、時代の流れだし、ひょっとしたらいいかもしれないとも思いました。娘の思ったままに書かせてみればよかったです。

[迫田]

2年ぶりに故郷に帰って来ました。お久しぶりの親戚とお友達との再会、一日中羊肉のご馳走等々、(中華料理屋へ行っても、思わず羊肉を頼んでいました)

草原で、自転車で北京から来ている人と会って、ご飯に招待し、目的地までのモンゴル人ならではの情報提供したり、観光地で知らない日本人がWシャツのポケットにパスポートを入れているのを見て、思わず、「ちゃんとしておかないと落としたりすると大変だよ」と言ってしまったり、自分が海外に住んでいるからなのかモンゴルにいる観光客にボランティアガイドでもしたい気持ちになりました。 [ノヨ]